

9月14日

今年も ARLISS の季節がやって来ました。成田空港で出国手続きをしていると、あちらこちらに知った顔が見受けられます。みんな、晴れ晴れした顔をしております。やるだけのことはやって、いよいよ ARLISS だっ！という心境なのでしょう。今年は何んなドラマが繰り広げられるのか、期待が高まります。



しかし・・・おや？なにやら浮かぬ顔の一团も。どうやら格安料金で利用者も多かったユナイテッドの便が欠航らしくて、このままじゃサンフランシスコまで到達できない状況らしいです。また日本の南では、台風13号の接近に伴い、台湾経由で行こうとしたら、結構で足止め、なんてチームもあった模様。さすがは海外旅行。皆さんもありとあらゆる状況を想定してください。とりあえず今年、どのチームも何とか目的地にはたどり着いた様子でした。窓口での前哨戦はとりあえずクリアと行ったところでしょうか。ちなみにこの台風13号、我々が帰ってくる直前まで日本に留まっていたらしいです。いやはや。

日付変更線を越える関係で、アメリカに到着してもやはり9月14日。ブラックロック砂漠近郊のブルーノの街に泊まるチームも多いですが、ブルーノから約120km南にあるファンレーの街に泊まるチームも多いです。ネットでも予約が出来ることから利用が多いベストウェスタンホテルですが、今年は目の前に24時間営業のウォールマートが出来ていて、大変利便性が向上していました。ファンレーやブルーノまでは、サンフランシスコ（あるいはロサンゼルス）から国内便でリノまで乗り継いで、そこからレンタカーだと楽ちんです。（リノ～ファンレーは60kmぐらい）。しかし国内便の乗り継ぎ待ち時間を考えるとサンフランシスコでレンタカーを借りちゃうぜ、というチームも見受けられました。こちらは5～6時間ぐらいのドライブが必要ですが、ま、そんなには辛くなかったとのことでした。

9月15日

旅の疲れもいやして午前中もゆっくり寝て、明けて15日。15時の集合時間にむけて、ファンレー宿泊チームは次々に北上を開始します。ファンレーからブルーノに至る道は・・・とにかくひたすら真っ直ぐ。途中、ピラミッドレイクというちょっと風光明媚な場所もありますが、あとはもう、荒野の中をひたすら一直線に進みます。運転していると眠気が襲ってくるので、「荒野を走る 死に神の列～♪」などと、ガンダムの歌を口ずさみながらドライブ。この光景をザクとかドムとかが走ってたら、確かに壮観



だろうなあ・・・。

ところで荒野の中では制限時速は 70 マイルなのですが、集落にはいると 30 マイルぐらいまで落ちます。小学校のそばでは 15 マイルぐらいまで落とさないといけません。昼間はまだ良いのですが、夜中とかに走っていると、日本みたいに街灯が行き渡っているわけではないので、街や標識を見落として、ついついスピードを落とすのを忘れてしまったりすることもあります。ご用心！昨年なのですが、私はしっかりパトカーに止められて、こっぴどと絞られました。朝の 4 時ですよ？そんな時間に、こんな荒野にパトカーが居るのが不思議ですが、ちゃんと居ます（いや、きっちりお仕事しているお巡りさんに感謝なのですが）。注意だけで見逃して貰えましたが、みなさんも気をつけて

ください。

ブルーノに集合した後、ブラックロック砂漠の周辺道路をしばらく走って、いよいよ砂漠の中へ。ここから先は GPS が欠かせません。基本的には平らなところなんです。車が通るところは轍が深くなっている場所もあり、ぼーっとして気がつかないで深く掘れる轍を横切ると大きくバウンドしちゃうことがあるので要注意です。またかなり砂が細かいので、呼吸器官の弱い人は防塵マスクがおすすめです。あと、やはり砂漠。別に暑くはありませんが、日差しが強くて強くて。日照時間が日本で一番短いことで有名な秋田から来ている大学生は、溶けかけて日陰に避難していました。

現地に着いて一通り注意を聞いて、ターゲット位置を確認。みんなで作業台やテントを立てたりして、明日からの競技に備えます。途中、今年のトイレ・会場使用料を慶應大チームが交渉しに行ってくれたのですが・・・何と今年は 1 人 1 日 10\$！4 日間だと 40\$ ”It's too expensive!” と言ったのかどうか知りませんが、学生が値引き交渉を試みるも”Bye-Bye”と連れなく放り出されて挫折。みんなで大人しく支払い。弱いぞ、日本の学生達。さて、明日からは本競技です。下見のこの日は風もなくて実に良い天気でした。でも昨年も下見の日は良い天気だったんですよね・・・。ちなみに写真は、ターゲット点で夕日を浴びながら、既に何かを成し遂げたように見える（だ



け)の筆者。

9月16日

競技1日目となるこの日。実は早朝にサンドストームがやって来たらしく、昨日設置したテントや机は砂まみれ。おまけに飛ばされてボロボロになったのもあります。恐るべし、出し善の脅威。

ARLISS10年目の節目でもある年だったので、きっちり開会式を行います。また今年はそれぞれのチームが機体の一部とかレプリカをお土産に持ってきていたので、その贈呈式も実施。

午前中に10機は打ち上げるよ、と言われていたのですが、おもったよりロケット側のメンバーの集まりが遅くて打上時間がずると遅れます。そのうちに風もちょっと出てきたりしましたが、お昼前頃からだんだんと打ち上げが始まりました。

今年はず、各チーム呼ばれたら計量チェックをして、それから機体の写真撮影、及びメンバーの集合写真撮影とぬかりなく行います。打上を待つ間は最終調整や、他の学校の先生方に機体を見せ(びらかし)たりしながらディスカッションタイム。いろんな貴重なアイデアが生まれたり、また新しい知識を得ることが出来るチャンスです。

この日は少し風が強めだったようで、まだターゲットには遠目の結果しか出ませんでした。明日に期待です。



9月17日

本日も快晴。しかしやはり風が少し強め。昨日打てなかった学校分も含めて、次々と機体が打ち上がっていきます。昨年は気がつかなかったのですが、今年はエンジンの噴煙が色とりどりだったような気がします。打上が終わったチームはさくさく帰って行きますが、中須賀先生は1日大変。ずっと「今年からは誰かにアレンジ任せようかなー」とターゲットを捜しておられました



が、「いや、私は国内担当なので」と逃げちゃいました。ごめんなさい。そんなこなしていると・・・なにやら不穏な雰囲気。砂漠なのになんだか曇ってます。こ、これは、噂に聞くサンドストーム?? だんだんと南から砂のカーテンが接近してきます。このスピードが実に遅いのですが。全員、車の中に退避。テントも幌を外し、机もひっくり返したりして強風に備えます。やがて小雨交じりの砂嵐の中に突入・・・

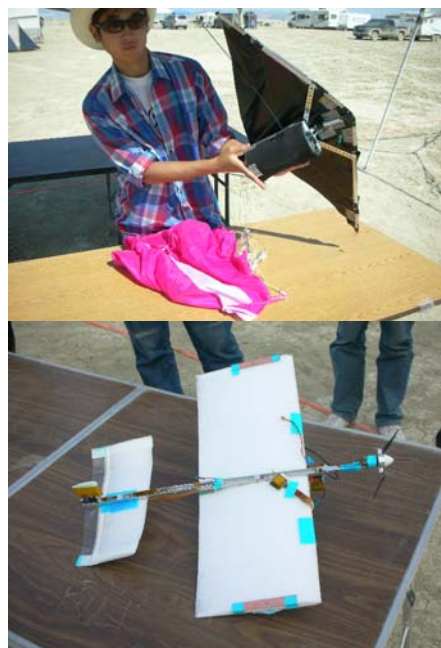
って、意外と衝撃もなにも無いのですけどね。終わって出てみると、べっとりと粘土質の砂がテントや車に張り付いていて大変でしたが。その後、だんだんと天気も回復してきてその後はさくさくと競技が進みました。この日は特に上空の風が強くて流されるチームが続出だったのですが、どうやらとんでもない記録が出た模様です・・・



## 9月18日

実は前日に引き続き、この日も朝からさくさくロケットが調達され、順調に飛行が行われました。午後からだと思ってのんびり会場に到着してみると、「もう準備できているから早く早く」と催促される有様。何処のチームも油断していてゆっくり目でやって来たようで、急かされながら打上です。昨日、東北大がついに、「ターゲットにぶつかってゴール」という快挙を成し遂げたとの情報が入っており、フライバックで参加のチームは「もはや国旗に巻き付いてゴールしかないな」と闘志を燃やしますが・・・今ひとつうまくいきません。風があると思って調整したら風がなかったり、風がないと思って調整したら風があったり。やはりフライバックには敷居が高いのか?と考えさせられた1日でした。

もっともフライバックも手をこまねいて居たわけではないのですけれどね。風に強い機体とすべく、L/Dをどちらも小さくすることを目標に、今年も様々なチャレンジが有りました。従来主流だったパラフォイル機体もまだ多いのですが、翼タイプが多く参加するようになりました。翼の展開の仕方の工夫もさることながら、中にはプロペラを使って推進を得る、アクティブ制御を目指した機体も見受けられました。フライバックの機体の努力実を結ぶ日に期待です。



9月19日

長めに打上予定日を取っていた今回。19日も打上が行われたのですが・・・すみません。私、この日、関係チームが全然無かったので、ゆっくりオフを取らせていただきました。打上が残っているチームは早朝からブラックロックに向かったそうです。3回目の打上をしようかと思ったチームも居たようですが、風が強めだったこともあったのか、実現せず。15時頃には全機打上を終了した模様です。どうもお疲れ様でした！（しかし疲れて帰ってきた中須賀先生を、プールで遊びながら出迎えたのはまずかった；）

9月20日

いよいよ全ての日程が終わってブレックファーストミーティングが開催されます。今年にはARLISS10年目と言うこともあり、中須賀先生からエアロパックの面々、トイグス先生に感謝状が贈られます。（写真、ピンぼけですみません）

こうして今年もまた、様々な思い出と学生達の成長を残して、ARLISSは終了したのでした。

みなさん、お疲れ様でした！

